

路地百選推薦書

推薦者氏名：木村晃郁

推薦する路地（のまち）の名称	牧志の市場（まちぐわー）と公設市場
所在地	沖縄県那覇市

【推薦する理由（路地のよいところ）】

アーケード（布貼りの屋根か？）の商店街が縦横に張り巡らされ、迷路のような、実にアジア的風景がいい。中には、アーケードの屋根の布が破れたままになっていたり、路面の舗装が剥がれたままになっていたり、ブルーシートで養生しただけになっているなど、そのいい加減さが謎めいて良い。

また、その奥には公設市場があり、いわゆる沖縄特有の食物、豚足やミミガー、面皮、海ぶどう、島らっきょ、ソーキ、島唐辛子、フルーツ、ゴーヤ等々、ありとあらゆるものがお手軽価格で購入でき、飲食店で食べることができる。2006年12月撮影。

【写真添付】



雨が土砂降りになると、アーケードの中も土砂降りに



こちらが公設市場
豚の顔も置いてあります

路地	面積	約 1ha	路地の延長	約 m
のまちの概要	まちの成り立ち、特色等	<p>1951年に那覇市が米軍管理用地約を借地契約し、牧志公設市場として開設された。後に第二牧志公設市場（衣類等）が開設されたが、大型店等に負けて近年閉鎖した。那覇の庶民の台所として戦後の沖縄の家庭を支えてきたが、沖縄の珍しい食材が安く購入でき、食堂街で家庭料理が安く味わえることから、那覇の観光スポットになっている。</p> <p>牧志のまちぐわーは那覇のメインストリート？国際通りに面し、この公設市場を抱えることから、おみやげ屋ストリートといった様相を呈し、一時期の京都の新京極と同様に高校生等の修学旅行生のメッカとなっている。</p> <p>第二牧志公設市場の跡地は、「那覇市中心商店街にぎわい広場」として、チャレンジショップやエコアンテナショップを集め、イベント広場とコミュニティルームを併設した起業スポットとなっている。</p>		